

H26年土木2級学科試験 問題集

No 1 土工に用いられる試験名とその試験結果の活用との次の組合せのうち、適当でないものはどれか。

	[試験名]	[試験結果の活用]
1	ボーリング孔を利用した透水試験土工機械の選定
2	含水比試験土の締固め管理
3	コンシステンシー試験盛土材料の選定
4	標準貫入試験地盤支持力の判定

答え--- 1

ボーリング孔を利用した透水試験こと、IT試験は地下水面下に堆積する砂質・礫質地盤の透水係数を求めるために行う。

No 2 土工に使用する建設機械名と作業内容との次の組合せのうち、適当でないものはどれか。

	[建設機械名]	[作業内容]
1	ブルドーザ伐開と除根
2	自走式スクレーパ掘削と運搬
3	モーターグレーダ敷均しと締固め
4	バックホウ掘削と積込み

答え--- 3

モーターグレーダは敷き均しには利用するが締固めの機械ではない。
特に精密な整地に用いられる。

No 3 盛土工に関する次の記述のうち、適当でないものはどれか。

- 1 盛土材料は、敷均しや締固めの施工が容易で、せん断強度が大きい材料を使用する。
- 2 建設機械のトラフィカビリティーが得られない軟弱地盤では、あらかじめ地盤改良などの対策を行う。
- 3 締固めの効果や性質は、土の種類、含水量及び施工方法によって大きく変化する。
- 4 構造物の裏込め部の材料は、雨水などの浸透によって土圧が増加しないよう、低い透水性の材料を使用する。

答え--- 4

構造物の裏込め部の材料は、透水性の高い材料を使用する。
水の通りにくい、透水性の低い材料は土圧が大きくなり危険となる。

この過去問は受講者専用のページです。
お申し込みされますと全ての過去問がご覧頂けます。
お早目のお申し込みお待ちしております。

受講お申込みはこちらから



<https://www.sekou-net.jp/entry/>